

韓日友好親善「朝鮮通信使行列」再現パレード

広島ユネスコ協会からも松岡会長らが「対馬藩主」に扮し参加



広島と世界を結ぶ平和の祭典「ひろしまフラワーフェスティバル」(46回目)が、6月10日と11日に、コロナ禍を経て4年ぶりに、広島市の平和大通りや平和記念公園で開かれました。

今年はG7広島サミットが広島市で開かれたため、例年の5月開催を6月に変更して行われました。この中で初日の韓日友好親善「朝鮮通信使行列」パレードには、広島の子生や広島韓国教育院、広島韓国人連合会、広島民団のメンバーとともに、広島ユネスコ協会から松岡盛人会長が「対馬藩主」、藤井正一参与が対馬藩士、坂口英二理事が羅將役に扮して参加、平和大通り沿いに詰めかけた、家族連れや若者、中・高校生から、たくさんの拍手や声援を受けながら、江戸時代の「通信使再現パレード」の姿を通じ、広島と大邱(姉妹都市)、日本と韓国の末永い友好親善をアピールしました。

またマッコリやトッポギなどを販売する出店ひろば(大邱マダン)には、藤井正一参与、藤井孝行副会長、達川明さん・会員、政木恵美子理事(国際部会長)らが、お手伝いに立ちました。晴天に恵まれた今年のフェスティバルは、多くの市民参加で大成功でした。(国際部会 政木)



